

金砂郷小周辺はお宝いっぱい!



かなさごう
金砂郷
ひたちおおた
常陸太田市

大昔からの遺跡がたくさん

わかったこと

僕たちの住んでいる旧金砂郷は、現在は常陸太田市の外れですが、古代や中世前期(鎌倉時代まで)はこの地方の中心地だったということです。縄文以前から中世までの遺跡が重層的に見つかったり、旧郡役所があったり、古代の旧官道(石岡-白河間 諸説あるが、大里-久米は共通)が通っていたりしました。山田川沿いは古代から奥州に向かう要衝だったようです。また、久米層露頭部から、鮮新世では、海底だったことがわかっていきます。

調べた理由

今まで除夜の鐘をつきにお寺に行くくらいで、お寺や遺跡に興味はありませんでした。しかし、学校のすぐ北にある山が久米城というお城で、近くにお寺や神社や古墳がたくさんあると聞き、夏休みに友達と一緒に調べてみたいと思いました。

調べる方法

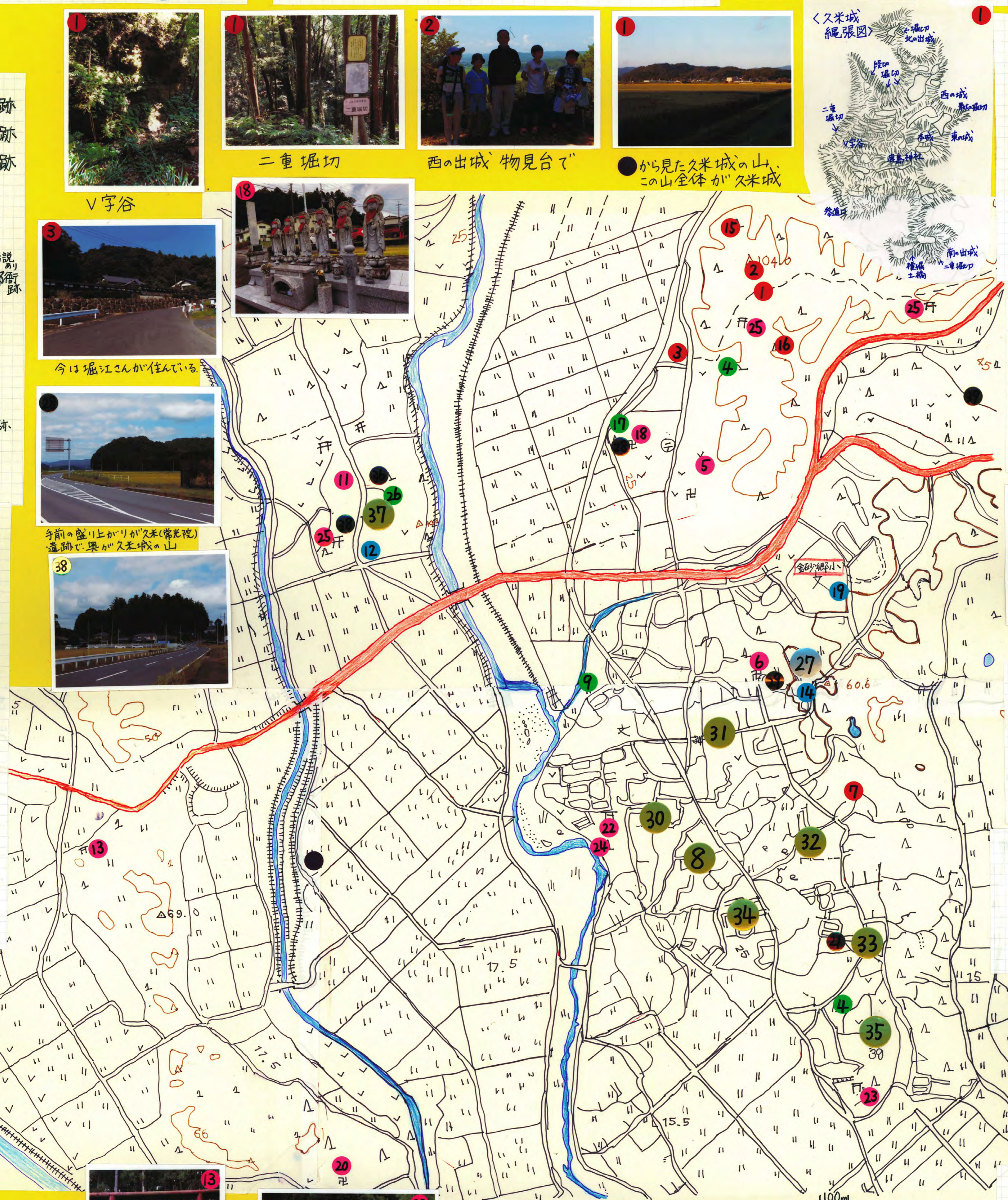
郷土史研究家の佐藤さんや久米城保存会の岩間さん、市役所文化課の方などにお話を聞いたり、現場を案内したりしてもらいました。遠いところは、保護者と一緒に出かけて調査を行いました。また、「金砂郷村史」と「久米地域の歴史」を参考に調査を行いました。



- 1 久米城跡
- 2 西の出城跡
- 3 根古屋
- 4 八幡神社跡
- 5 正念寺
- 6 来迎院
- 7 荒谷城跡
- 8 長者屋敷跡
- 9 天神様跡
- 10 駅家跡
- 11 熊野神社
- 12 堀江家書院
- 13 伊勢神社
- 14 八幡太郎義家の馬跡跡
- 15 北の出城跡
- 16 南の出城跡
- 17 愛宕神社跡
- 18 常光院
- 19 松茸山
- 20 香仙寺
- 21 陣屋跡・郡衙跡
- 22 近津神社
- 23 赤城神社
- 24 水神様
- 25 鹿島神社
- 26 奈鷹神社跡

- 27 久米層露頭部(鮮新世)
- 28 久米遺跡(縄文から)
- 29 北宿古墳群(古墳)
- 30 長者屋敷遺跡(縄文から)
- 31 目久保内遺跡(弥生から平安)
- 32 おひい蔵遺跡(縄文から)
- 33 前官遺跡(弥生)
- 34 万空内遺跡(弥生)
- 35 宮崎前遺跡(奈良・平安)
- 36 大方台遺跡(古墳から平安)
- 37 大方古墳群(古墳)
- 38 下宿遺跡(古墳から平安)
- 39 大平遺跡(古墳)

- 城跡
- 寺・神社跡
- 寺・神社(現存)
- 遺跡
- 地層



久米城

鎌倉時代に大塚氏が館を作って住んでいたと伝えられる。その後、小野崎氏から久米氏になり、さらに在竹北家として200年あまり続いていたが、慶長7年の国替で秋田に転封となり、廢城になった。国道293号の久米十文字の北側の山全体が久米城跡で、標高差は約80m。面積は広大で、尾根ごとに郭、堀、堀切、土塁などをもち、それぞれが独立した1つの城としての役割を持っていた。

5 正念寺(浄土真宗、本尊は阿彌陀如来像)
もとは願入寺と言われ、如信(親鸞の孫)が開いた花園のとき大洗に移り明治に正念寺となった。大きな梵鐘がある。

18 常光院(曹洞宗、本尊は地藏菩薩像と弁財天)
佐竹氏が建立。佐竹北家の菩提寺。大伽藍であったが火災により焼失。常光院古墳でもある。



水戸藩荘園跡 松茸山
現在の金砂郷小学校の辺りは、昭和の終わりに山が切り開かれるまでは松の多い山林だった。その昔、水戸藩の松茸山で、今もアカマツが生えている。

6 来迎院(天台宗)
現在、住職はいないが、阿彌陀堂如来座像(一木造り)と樓門と阿彌陀堂が県指定文化財になっている。阿彌陀堂には、たくさんの彫刻がある。



荒谷城跡
築城や居住者は不明であるが、遺構から戦国時代の頃と考えられている。久米城の南方の守りではないかと推定されている。現在は人家の奥で城は人家より5mほど高く、本郭中央部に稲荷神社がある。



長者屋敷遺跡 30
新石器時代に始まる連続的な集落跡が推定されている。古墳時代前期中期・後期、奈良・平安時代に及ぶ土器が出土している。古墳後期より久米国から常陸国久米郡となり、その中心地として郡庁置かれた。正念寺(元々久米軍団の宿舎)老母寺、馬車馬車敷方(長者屋敷)があり、土器や土器片が大量に発見されている。おまわりで発見されているので、源義家(久米)が建てたといふ説がある。

<感想や考えたこと>
初めての地図作りは、大変でした。まず、地図を作るのに道路がたくさんあって、細くてちんちんつながるから区別しなからかいていきました。また、等高線もとても緊張しながら線をひきました。地図記号は、ちょっと難しかったです。でも、国土地理院の地図を見て、気をつけてかきました。そして、現地調査がとても大変でした。阿彌陀堂では、雷に会い、しばらく雨やどりました。暑さは、ずうとありましたが、久米城の調査では、虫を追い払うのが続き、蚊にさされました。しかし、実際に行動したことが、とても楽しくなりました。ガイドの皆さんやお家の人に感謝しています。
今回の地図作りで、金砂郷小学校の周りには実にたくさんの遺跡や文化財があることがわかりました。一番古い久米層露頭部は鮮新世という大昔の地層です。団地になってしまっているけど、実物が見られる所は、とても貴重です。また、縄文時代からいくつもの遺跡が重層的にある所も、とても貴重です。特に長者屋敷遺跡は、大規模なものでしたが、道路や宅地になってしまっています。
今は、元の形を残していません。この周辺には、大昔から古墳や遺跡など、たくさんの人がいたことが、中世からは、佐竹氏との関係が深かったことがよくわかりました。そして、それぞれの時代の人々、何を食ったか、どんな家に住み、どんな暮らしをしていたか、何を信じたか、どうしてこの土地にこんなに遺跡がたつたのか、いろいろな疑問点も生まれてきました。6年生から歴史の学習が始まるから、今回の調査で分かったことや疑問点を忘れずにみんなと考えていきたいと思います。

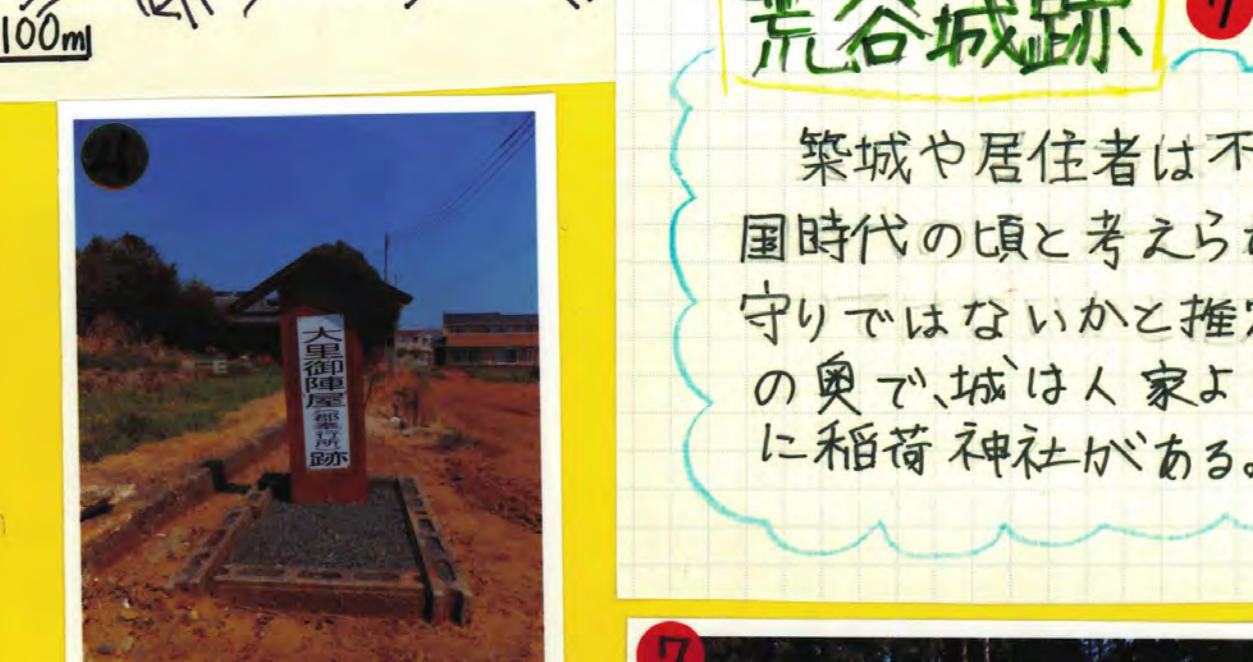


20 香仙寺(浄土宗)
県指定文化財の直棧洞(じきてつどう)と県天然記念物のシイの木がある。直棧洞は洞内に阿彌陀三尊があり、了誉上人が佐竹の乱を避けて洞にこもり、決意の直棧片を完成させた。

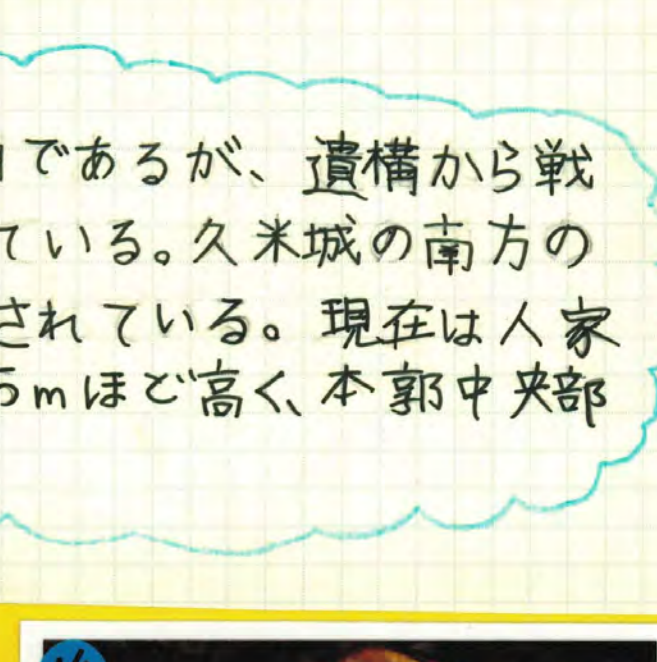
20 直棧洞の石仏(県指定文化財)
洞内に阿彌陀三尊像の浮き彫りが残っています。阿彌陀仏と脇侍菩薩像が左右にあります。平安後期の風で、地方化した表現も見られ、鎌倉時代の作ではないかと言われています。



数々の遺跡や古墳 27 ほか多数
山田川流域には、メノウや糸文土器、弥生式土器、土師器、須恵器などの数々の出土品があり、石器時代から連続的に集落が存在した。遺跡の中には、久米の古墳も存在している。また、久米層露頭部からは、鮮新世(350万年~約1万年)の化石も産出している。温暖な気候で、暖流と寒流の接合海域であった。(ミュージアムパークに寄付されている。)



8 長者屋敷遺跡
広大な屋敷であった。県道・拡張工事などで土器や炭化米などが大量に出土した。



7 周辺どう説もある